

図書館だより

枚方市立図書館通信第 92 号 <http://www.city.hirakata.osaka.jp/site/sub-news/tayori.html>

発行：平成 26 年 8 月 枚方市立中央図書館（毎週金曜日・第 4 火曜日休館）050-7105-8121（児童サービスグループ）

〒573-1159 枚方市車塚 2-1-1 TEL 050-7105-8141(代) FAX 072-851-0962 写真：中央図書館 4 階



7月22日から図書宅配サービスをはじめました。 図書館に行かなくても本が手元に届きます。

図書館への来館が困難な人も宅配で図書の貸出・返却ができるようになりました。ただし、送料は利用者負担です。障害等の程度により送料の軽減または免除があります。

枚方市内に在住または在学・在職の人ならだれでも宅配サービスを利用できますので、お近くの図書館・分室で宅配サービスの利用登録手続きしてください。そのあとは、借りたい本を電話やファックス、インターネットで予約することができます。詳しくは中央図書館 4 階フロアまでお問い合わせください。電話 050-7105-8141。

貸出の内容：1人12冊、14日間、延長1回限り
貸出できないもの：DVD、CD、ビデオ、大型本、紙芝居
手続きに必要なもの：貸出カード（初めての人は市内在住または在学・在職であることを証明できるもの）、障害等のある人は障害者手帳、精神障害者福祉手帳、療育手帳、介護保険被保険者証を提示してください。

中央図書館にて、椿昇さんと小学生30人による《ふしぎな花とひかる虫展》を8月24日（日）まで開催中。閉館後も光っているよ！見に来てね！

8 月の図書館イベント

○分室開設 40 周年事業

●枚方公園分室

人形劇 (人形劇団「ころりん」)

8/3 (日) 午前 11 時～(10 時 30 分開場)

●村野分室

人形劇 (人形劇団「もんべ座」)

8/30 (土) 午前 11 時～(10 時 40 分開場)

* 枚方公園・村野分室とも入場整理券が必要です。両分室にて配布しています。電話での取り置きはできません。

* 枚方公園・村野分室とも公共交通機関でお越しください。

○読書会

●香里ヶ丘(図) 中高生読書会 テキスト未定

8/16(土) 午後 3 時～ 2 階ホール

○乳幼児向けおはなし会

●中央(図)

8/13・27 日(水)、[0 歳児]午前 10 時 30 分～、
[1・2 歳児]午前 11 時 10 分～

●香里園分室

8/1 (金) 午前 10 時半～

○工作など

●山田分室 工作「はねカエル」

8/20 (水) 午後 1 時～4 時

●香里園分室 工作「つりゲーム」

8/16(土) 午後 1 時～4 時

●宮之阪分室 工作「かみコップギター」

8/21 (木) 午前 11 時～4 時半

●東香里分室 工作「イルカがジャンプ」

8/20(水) 午後 1 時～4 時

●氷室分室 工作「くるくるしゃぼんだまをつくろう!」

8/21 日(木) 午後 1 時～4 時半

●茄子作分室 工作「おしゃれわにさん」

8/27(水) 午後 1 時～4 時半

●釈尊寺分室 工作「ヘリコプター」

8/20 (水) 21 日(木) 午後 1 時～4 時半

○その他

●中央(図) 手話で楽しむおはなし会

8/23 (土) 午後 2 時～

●香里園分室「手話の会」

8/8・22(金) 午前 10 時半～12 時

ふれあいルーム (絵本で子育て)

■中央図書館 毎週月曜日

■香里ヶ丘図書館 第 1・3 (金) 第 2・4 (木)

■楠葉生涯学習市民センター 第 2・4 火曜日

■菅原図書館 毎週日曜日

■さだ図書館 毎週木曜日(第 3 週は金曜日)

■牧野図書館 毎週金曜日

■津田図書館 毎週水曜日

■御殿山図書館 毎週金曜日

いずれも 10 時～12 時 30 分 (楠葉のみ 9 時 30 分～12 時) 但し、図書館等の休館日には実施しません。

問合先(子育て支援室)072-841-1221 代

ちょっと【本の紹介】

《十津川警部 犯人は京阪宇治線に乗った》

西村京太郎著/小学館

同棲している売れない役者の二人に、ある日めずらしく二人そろっての仕事が舞い込んだ。

東京から京都に観光に来た夫婦の役で、夫婦は京阪宇治線の車窓から殺人事件を目撃するという設定のミステリードラマだった。

宇治に撮影にやって来た二人は、事件に巻き込まれ命を落としてしまうが、それには半年前のある女優の死が深く関わっている……。

暑さしのぎに、ご存じ十津川警部シリーズで軽く頭の体操などいかがだろうか。

宇治の散策が好きな私は、「京阪宇治線」の文字に大いにひかれ、本を手にとった。

宇治線の起点の中書島や木幡、六地藏など馴染みの駅名、そして「鉄筋コンクリートがむき出しの建築様式で、中はひんやりとうす暗い、といった京阪宇治駅の描写にうなずきながら、殺人事件の推理に一時暑さを忘れた。ご当地ミステリーも、いつもの景色に話を重ね、想像力をかき立てられていいもんだ。

できれば世界遺産が 2 か所もあり、春夏秋冬、風光明媚でお茶の香りのする宇治を、もっと紹介してほしいが……。

(中央図書館 4 階フロア担当)